

**令和6年度
企業版ふるさと納税に対する評価**

1 事業概要

交付対象事業の名称	第2期酒田市まち・ひと・しごと創生推進計画
事業計画期間	2023（令和5）年度 ～ 2027（令和9）年度
事業の概要	企業版ふるさと納税による寄附を、酒田市総合計画後期計画に位置付けた以下の事業に活用することにより、人口の社会減少、自然減少の抑制を目指す。 <ul style="list-style-type: none">・基本目標1 未来を担う人材が豊富な酒田・基本目標2 地域経済が活性化し、「働きたい」がかなう酒田・基本目標3 ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加する酒田・基本目標4 暮らしと生きがいを共に創り、お互いが支え合う酒田・基本目標5 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田・基本目標6 都市機能が強化され、賑わう酒田・基本目標7 健全な行政経営を推進する酒田

2 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関する寄附の実績

法人数	寄附金額（円）
21社	27,870,000

3 重要業績評価指標（KPI）

別紙のとおり

4 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	令和6年度は21社から寄附をいただき、地方創生に向けた事業をより強力に進めることができた。特に、令和6年7月25日からの大雨災害を受けて、本市の復旧・復興に関する事業に対する寄附金を多くいただいた。基本目標5「地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田」の達成に向けて特に効果があったと考える。

令和6年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	東北公益文科大学、地元高校との連携による人づくり・まちづくりプロジェクト		
事業計画期間	2020（令和2）年度 ～ 2024（令和6）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	II ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち	
	数値目標	人口に対する社会減の抑制 △485人【2018年】 → △100人【2024年】	
事業の概要	地域で唯一の4年制大学である東北公益文科大学に対し、地域IT人材を育成するためのデジタル関連事業の実施や講座の開講を委託したもの。また、地域連携人材を育成するため、地元高等学校と同大との連携事業や地元事業者とのデュアルシステム教育の支援を行ったもの。		
事業費（円）	10,610,996	うち交付金充当額	5,305,498

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	2022 令和4 増加分	2023 令和5 増加分	2024 令和6 増加分	評価対象年度 (R6) までの 増加分累計	進捗状況
①公益大卒業生の酒田市内就職数	目標値 (人)	-	3	4	5	5	4	21	更なる取組 が必要
	実績値 (人)	17	-6	4	-1	1	-3	-5	
②酒田市内の高校から公益大への進学者数	目標値 (人)	-	3	4	5	0	0	12	達成
	実績値 (人)	17	6	8	-9	-4	11	12	

3 目標達成・未達理由

①市内企業のPR不足及びマッチング機会の不足により目標が達成できなかった。
②目標達成したものの、令和8年度に予定している大学の公立化等、事業効果以外の要因によるもの大きいと考える。

4 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	市内企業や地元高校生との交流、連携の事業が契機となり、地元就職や大学進学の際となるケースが生まれている。今後は、市内企業と大学が連携する講義や、市が行う定住促進施策の周知などにより改善を図る。

令和6年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	夢があり、儲かる農業のまち酒田プロジェクト		
事業計画期間	2022（令和4）年度 ～ 2024（令和6）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	I 地域経済の好循環により「働きたい」がかなうまち	
	数値目標	施策効果による新規就業者の創出 800人【5年間累計】 平均給与収入額 297.6万円【2018年】→335.4万円【2024年】	
事業の概要	<p>近隣自治体や関係団体と連携し、以下の取り組みを行うことで夢があり儲かる農業の実現を目指す。</p> <p>①スマート農業も取り入れた新規就農育成プログラム（もっけ田農学校）の開催などを通じた新規就農者の確保</p> <p>②複合経営推進やデジタル技術も取り入れた資源循環型の土づくり、販路拡大など通じた米価に影響されない農業所得向上</p>		
事業費（円）	30,825,613	うち交付金充当額	15,412,806

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2022 令和4 増加分	2023 令和5 増加分	2024 令和6 増加分	2025 令和7 増加分	2026 令和8 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗状況
①新規就農育成プログラムの受講者数	目標値 (人)	-	11	12	12	-	-	35	更なる取組 が必要
	実績値 (人)	11	11	10	10	-	-	31	
②本事業で支援した土づくりの延面積	目標値 (ha)	-	900	900	900	-	-	2,700	更なる取組 が必要
	実績値 (ha)	900	842	878	782	-	-	2,502	

3 目標達成・未達理由

<p>①受講者からは高い評価を得ているものの、受講者数は目標に達していない状況である。プログラムの内容の有効性は十分あると考えるが、市内の農業者に取組みが十分認知されていないことも考えられるため、今後は市からのP.R.のみならず、農業者団体等関係機関の協力を得つつ周知に努める。</p> <p>②令和6年7月25日からの大雨災害の影響により農地に甚大な被害があったため、土づくりの実施延べ面積が減少した。</p>
--

4 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	米どころとして水稻が盛んな本地域では、データに基づいた栽培技術を習得することや継続した土づくりが重要である。全てのKPIがほぼ9割以上の達成率となったことは、継続した取組みにより、データに基づいた栽培技術の習得や継続した土づくりの重要性が認識されつつあるとも考えられるが未だ十分ではない。

令和6年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	酒田版デジタル変革推進事業		
事業計画期間	2022（令和4）年度 ～ 2026（令和8）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	Ⅳ 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすいまち	
	数値目標	酒田に住み続けたいと思う市民の割合（アンケート調査） 78.2%【2017年】→80%以上【2024年】	
事業の概要	データ循環によるサービス創出で雇用が創出されるとともに市民が健康的に生活し続けることができる社会を目指す。具体的には、未来技術を活用し、以下の事業に取り組むことで市民のデータの収集、蓄積、活用のサイクルが回ることにより、データを活用した新たなビジネスの創出と新たなサービスの提供が行われる、持続可能なまちをつくる。		
事業費（円）	28,885,957	うち交付金充当額	14,442,978

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）	事業開始前	2022	2023	2024	2025	2026	評価対象年度（R6）までの増加分累計	進捗状況	
		令和4 増加分	令和5 増加分	令和6 増加分	令和7 増加分	令和8 増加分			
①データ連携基盤を介したサービス利用登録者数	目標値人	-	21,000	4,000	7,000	4,000	4,000	32,000	達成
	実績値人	0	0	19,099	22,359	-	-	41,458	
②新規に立地したIT企業	目標値企業	-	0	0	1	2	2	1	達成
	実績値企業	0	0	1	1	-	-	2	
③リビングラボに参画する市民の数	目標値人	-	10	15	20	25	30	45	達成
	実績値人	0	16	34	108	-	-	158	
④PHRサービス利用登録者数	目標値人	-	50	100	250	250	350	400	更なる取組が必要
	実績値人	0	0	0	0	-	-	0	

3 目標達成・未達理由

①サービスの改善の効果もあり登録者は予想を超える勢いで増えている。今後も、より魅力的なコンテンツの機能搭載を進めていく。
②立地環境や、本市のDXへの取り組みなどの情報提供し企業誘致に取り組んだ。

4 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	4つのKPIのうち3つが目標値を達成していることから、地方創生に効果があったと考えている。今後も、機能追加などにより、引き続き市民サービスの向上を図っていく。

令和6年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	共創コミュニティの創出・運営支援による、新たな産業振興支援事業 ～個から集へのサポートで地域を変革～		
事業計画期間	2022（令和4）年度 ～ 2024（令和6）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	I 地域経済の好循環により「働きたい」がかなうまち	
	数値目標	施策効果による新規就業者の創出 800人【5年間累計】 平均給与収入額 297.6万円【2018年】→335.4万円【2024年】	
事業の概要	民間企業または個人の集まるコミュニティの経済活動に対して、酒田市産業振興まちづくりセンター（サンロク）が複数のツールを用いて支援することで、「様々なビジネスプロジェクトが自律的に生まれてくる環境・インフラ」を整備し、行政が行う全く新しい産業振興及び地域活性化の形を作っていく。		
事業費（円）	67,579,396	うち交付金充当額	33,789,698

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2022 令和4 増加分	2023 令和5 増加分	2024 令和6 増加分	2025 令和7 増加分	2026 令和8 増加分	評価対象年度 (R6) までの 増加分累計	進捗状況
①ビジネスプロジェクト実施による売上・資金調達サポート等金額	目標値 (千円)	-	25,542	34,780	67,580	79,700	73,780	127,902	達成
	実績値 (千円)	43458	85,540	-11,514	121,482	-	-	195,508	
②サンロクIT女子コミュニティに属する女性のうち、コミュニティに入る前後でwell-beingが向上したと答える人の割合	目標値 (%)	-	10	15	30	5	5	55	更なる取組が必要
	実績値 (%)	24	47	-24	-4	-	-	18.6	

3 目標達成・未達理由

①起業については専門員が対応し、その他プロジェクトについても職員の体制を充実させた。
②講座・セミナー実施によるインプットは行ったが、そのアウトプットが十分でなかった。

4 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	目標未達となったKPI②については、サンロクIT女子コミュニティに所属する女性一人ひとりに、より質（単価）の高い業務の受注・遂行を通じて、スキル向上及び所得増加を実感してもらう必要があると考える。

令和6年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	酒田市「海業（うみぎょう）」創出プロジェクト		
事業計画期間	2023（令和5）年度 ～ 2025（令和7）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	II 地域経済が活性化し、「働きたい」がかなう酒田	
	数値目標	新規漁業就業者数 7人【5年間累計】 市内水揚金額 930百万円【2022年】→1,200百万円【2027年】 （うちスルメイカ）595百万円【2022年】→700百万円【2027年】	
事業の概要	酒田ならではの「海業」の構築に向けて、「いか釣り船団出航式」や地域の農水産物等を地域資源として活用した、大都市圏への販路拡大や、地産地消の推進、交流人口の拡大を促す仕組みの構築及び近年の全国的な不漁、燃料高騰等に負けない、実需者や消費者から求められる魅力あるイカを供給する仕組みの構築を行う。		
事業費（円）	5,451,735	うち交付金充当額	2,785,867

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2023 令和5 増加分	2024 令和6 増加分	2025 令和7 増加分	2026 令和8 増加分	2027 令和9 増加分	評価対象年度 (R6) までの 増加分累計	進捗状況
①市内水揚金額（うちスルメイカ）	目標値 (百万円)	-	40	40	40	-	-	80	更なる取組 が必要
	実績値 (百万円)	666	-217	-191	-	-	-	-408	
②活イカ単価（1kg当たり）	目標値 (円)	-	4,000	1,000	1,000	-	-	5,000	更なる取組 が必要
	実績値 (円)	0	440	1,410	-	-	-	1,850	
③首都圏プロモーションによる農水産物の新規販売額	目標値 (百万円)	-	2	3	5	-	-	5	更なる取組 が必要
	実績値 (百万円)	0	1	1	-	-	-	2	
④イカ飲食店マップ掲載店舗数	目標値 (店舗)	-	10	2	3	-	-	12	達成
	実績値 (店舗)	0	5	7	-	-	-	12	

3 目標達成・未達理由

①スルメイカ資源量の大幅な減少により、酒田港におけるスルメイカの水揚量が減少した。
②活イカ流通に向けた試験的な取組を実施したが、夏季の海水温の上昇や冬季の時化により活イカを飲食店へ提供することができなかった。
③目標を達成できなかったが、酒田フェアを開催する企業グループを増やすことができた。
④酒田船凍いかを取り扱う店舗が増え、料理店マップを作成することができた。

4 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	KPI①についてはスルメイカの漁獲量減少より目標未達となったが、酒田船凍いかのPRにより地元や首都圏において「いかのまち酒田」の認知度向上が図られたほか、他のイカ類による試験的な取組の実践に繋がった。

令和6年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	地域づくりの新たな担い手となる関係人口創出・拡大プロジェクト【広域連携事業】		
事業計画期間	2024（令和6）年度		～ 2026（令和8）年度
総合戦略における位置づけ	基本目標	Ⅱ 地域経済が活性化し、「働きたい」がかなう酒田	
	数値目標	正社員の有効求人倍率1.37倍【2021年】→1.00倍以上【2027年】 新規高卒者の県内就職率69.0%【2021年】→75.0%以上【2027年】	
連携自治体	山形県、鶴岡市、酒田市、寒河江市、尾花沢市、朝日町、飯豊町		
事業の概要	人口減少・少子高齢化により地域の担い手不足が深刻な状況の中、地域等と都市部企業等との協働事業への支援などを通して、関係人口等、地域内外を問わない多様な主体を新たな地域の担い手として確保する仕組みを構築するとともに、関係人口等の受入れに係る普及啓発等、地域側の基盤強化を図ることで、地域活力を持続的に創出できる仕組みづくりを行う。		
酒田市の役割	都市部企業・人材を呼び込むための地域課題・地域資源の発掘・選定についてのアドバイスを行うとともに、地域の外部人材受け入れに関しての合意形成を県と協働して支援する。また、関係人口等の多様な主体の受入れに向けた地域基盤の強化を、地域と協働で実施又は支援する。		
事業費（円）	3,875,576	うち交付金充当額	1,937,788

2 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	本市への移住に強い関心を持つ層と繋がりを構築することができた。こういった人たちが本市のイベントに継続的に関わっていくことにより、関係人口及び交流人口の増加に波及的な効果が生まれると考える。